

## 組換え大腸菌由来のガラクトース脱水素酵素

Cat. No. NATE-1931

Lot. No. (See product label)

### はじめに

#### □明

酵素学において、ガラクトース1-脱水素酵素 (EC 1.1.1.48) は、次の化学反応を触媒する酵素です: D-ガラクトース + NAD+ ⇌ D-ガラクトノ-1,4-ラクトン + NADH + H+。したがって、この酵素の2つの基質はD-ガラクトースとNAD+であり、3つの生成物はD-ガラクトノ-1,4-ラクトン、NADH、およびH+です。この酵素は酸化還元酵素のファミリーに属し、特にNAD+またはNADP+を受容体とする供与体のCH-OH基に作用するものです。この酵素はガラクトース代謝に関与しています。

#### 別名

D-ガラクトース:NAD+ 1-オキシドレダクターゼ; D-ガラクトース脱水素酵素; ベータ-ガラクトース脱水素酵素; NAD+-依存性D-ガラクトース脱水素酵素; ガラクトース 1-脱水素酵素; EC 1.1.1.48; ガラクトース脱水素酵素

### 製品情報

#### 由来

大腸菌

#### 形態

硫酸アンモニウム懸濁液

#### EC番号

EC 1.1.1.48

#### CAS登録番号

9028-54-0

#### 分子量

ca. 33,800

#### 活性

80 U/mg タンパク質以上

#### pH安定性

5.0 - 10.0

#### 最適pH

10.5

#### 熱安定性

アンモニウム硫酸塩ありで50°Cまで、アンモニウム硫酸塩なしで40°Cまで、活動の著な減少は見られません。

#### 単位定義

1単位の活性は、30°Cで1分あたり1μmolのNADHを生成するGalDHの量として定義されます。

### 保管・発送情報

#### 保存方法

4-10°Cで保管してください (凍結しないでください)

#### 安定性

4 °Cで少なくとも1年間安定しています